

昆虫文献目録「三橋ノート」コウチュウ目 135 冊の画像公開

Open Access of an Image Database of the Coleopteran Part of “Mistsuhashi’s Notes” Containing Data of Old Japanese References of Entomology

吉武 啓*・吉松慎一*・中谷至伸*・上田義治**

Hiraku Yoshitake, Shin-ichi Yoshimatsu, Yukinobu Nakatani, and Yoshiharu Ueda

要約

明治時代から昭和 20 年代後半にかけて我が国で行われた昆虫研究に関する文献情報をほぼ網羅した「三橋ノート」全 474 冊のうち、昆虫の中で最大のグループであり、農林学的にも重要なコウチュウ目に関する 135 冊、19,992 頁の画像をデータベース化し、公開した。

背景と目的

「三橋ノート」は、当所の前身である農事試験場に籍を置いていたこともある昆虫研究家(故)三橋信治氏が作成した文献目録であり、明治時代から昭和 20 年代後半にかけて我が国で行われた昆虫研究に関する文献情報をほぼ網羅した貴重な二次資料である。最近のデータベースでは検索できない時代の情報を見つけることができるため、農業環境技術研究所では、5 年以上前から「三橋ノート」全 474 冊の画像データベース化を進めており、これまでトンボ目、チョウ目、ハエ目、カメムシ目の合計 230 冊、36,550 頁のデジタル画像を Web 上で公開してきた。今回これに加えて、昆虫最大のグループであり、農林学的にも重要なコウチュウ目に関する部分の画像データベース化に取り組んだ。

成果の内容

「三橋ノート」(http://mitsuhashi.niaes.affrc.go.jp/m_note01.html 参照)のコウチュウ目に関する 135 冊、19,992 頁についてデジタル画像を取得し、画像データベースとして Web 上に公開した(<http://mitsuhashi.niaes.affrc.go.jp>、図 1)。本データベースには、日本産のコウチュウ目に関する明治時代から昭和 20 年代後半までの文献書誌情報(著者名、タイトル、書名、巻、号、頁、発行年など)が分類群毎に整理されている。歴史的経緯のため、昭和 20 年以前の台湾、朝鮮半島および中国東北部の昆虫とその関連文献の情報も含まれている。各頁に記されている主要な学名と和名をその頁のキーワードとして登録してあるので、閲覧したい分類群の学名もしくは和名を用いて掲載頁を検索し、閲覧することができる(図 2、図 3)。本データベースを利用することにより、コウチュウ目に関する分布情報や害虫種の発生情報など、他の文献データベースでは入手困難な時代の情報を特定の種を指定して検索できるようになり、時代的変遷を扱う生物多様性研究や分類研究等の発展に貢献できるものと期待される。

*農業環境インベントリーセンター **研究情報システム管理室

Natural Resources Inventory Center, Coordinator for Research Information Systems

インベントリー, 第 9 号, p23-24 (2011)

